

－ポイント9－

- 基本的な手順を踏みながら、児童生徒の指導の内容や意図等に応じて工夫する
- 特に、重点的な指導内容や体験活動を生かす指導などについて、多様な学習指導案を創意工夫する。

道徳の時間の学習指導案は、主題のねらいを達成するために、児童生徒がどのように学んでいくかを十分に考慮し、何を、どのような順序や方法で指導し、評価し、更に指導に生かすのかなど、学習指導の構想を一定の形式にまとめたものです。

1 学習指導案の内容

学習指導案は、教師の指導の意図や構想が最も適切に表現されることが好ましく、各教師の創意工夫が期待されます。したがって、特に決まった形式はありませんが、一般的には次のような事項が取り上げられます。

- 1 主題名 原則として、年間指導計画における主題名を記述
- 2 ねらいと資料 年間指導計画を踏まえてねらいを記述するとともに、資料名を記述
- 3 主題設定の理由
 - (1) ねらいや指導内容についての教師の考え
 - (2) ねらいや指導内容と関連する児童生徒の実態と教師の願い
 - (3) 使用する資料の特質や取り上げた意図及び児童生徒の実態を踏まえた指導の方策 等
 - ※ 児童生徒のよさやそれを更に伸ばしていこうとする観点を重視
 - ※ 具体的で積極的な指導の手だてや資料の生かし方を記述

4 学習指導過程

	学習活動	主な発問と予想される児童生徒の反応	指導上の留意点
導入	主題に対する児童生徒の興味や関心を高め、ねらいの根底にある道徳的価値の自覚に向けて動機付けを図る段階		
展開	中心的な資料によって、児童生徒一人一人が、ねらいの根底にある道徳的価値についての自覚を深める段階		
終末	ねらいの根底にある道徳的価値に対する思いや考えをまとめたり温めたりして、今後の発展につなぐ段階		

5 他の教育活動などとの関連

特に関連のある教育活動や体験活動、日常生活との関連、事前や事後の指導の工夫について記述

6 その他

例えば、評価の観点、資料分析、板書、場の設営、個別指導との関連、家庭や地域社会との連携、校長や教頭などの参加、他の教師との協力的な指導、保護者や地域の人々の参加や協力など、学習の特質に応じて授業が円滑に進められるよう必要な事柄を記述

2 学習指導案作成の主な手順

学習指導案の作成の手順は、おおむね次のようなことが考えられます。

手 順	具体的な検討事項
①ねらいを検討する	○ 指導の内容や指導の意図を明らかにする。
↓	
②指導の要点を明確にする	○ ねらいに関する児童生徒の実態と、それを踏まえた教師の願いを明らかにし、各教科等での指導との関連を考慮し、指導の要点を明確にする。
↓	
③資料を吟味する	○ 資料について、ねらいとする道徳的価値がどのように含まれているかについて検討する。 ・ 登場人物の行為や心の動き ・ 資料に対する児童生徒の感じ方や考え方 ・ 児童生徒の学習意欲を高め、道徳的価値の自覚を深める手だて 等
↓	
④学習指導過程を構想する	○ ねらい、児童生徒の実態、資料の内容などを基に、授業の流れの中心となる展開の段階について考える。 ・ 発問構成の工夫 ・ 展開の段階が生きる導入や終末の工夫 ・ 体験活動や日常生活などの生かし方の工夫 等
↓	
⑤一人一人を生かす指導方法を考える	○ 様々な表現活動、書く活動、グループでの話し合い、意図的指名など、一人一人の感じ方や考え方が生かされ、学び合うことのできる指導方法を工夫する。
↓	
⑥板書を生かす計画を立てる	○ ねらいに関わって、指導の意図や資料の内容、児童生徒の感じ方や考え方の違いなどを視覚的に整理して、生かすための工夫を検討する。
↓	
⑦事前、事後の押さえや指導について考える	○ 豊かな体験活動や日常的な指導、各教科等での指導との関連をはじめ、事前の実態把握や事後の個別的な指導、家庭や地域社会との連携などを検討する。

3 作成上の留意点

作成に当たっては、このような内容や手順を基本としつつ、児童生徒の実態や指導の内容や意図等に応じて工夫することが求められます。特に、重点的な指導や体験活動を生かす指導、複数時間にわたる指導、多様な資料の活用、校長や教頭などの参加、他の教師との協力的な指導、保護者や地域の人々の参加や協力などの工夫をし、多様な学習指導案を作成しましょう。